

2008 年度

科目名	対象学科・学年 人間人社3回生	担当者
情報社会学 A		小坂 暢幸
授業テーマ 実社会で活躍しているコンピュータシステムを知り、社会に出てからも役立てる。		
授業の概要と目標 情報化社会と言われ、様々な情報処理機器や、パーソナルコンピュータが稼働している。又、インターネットやカード社会など、媒体もいろいろな形で存在している。 情報処理システムの役割や仕組みを知り、実社会に出て、役立つ講義内容とする。講師は、実社会のコンピュータ会社の経営者で、具体的なシステム内容や、ビジネスについて講義する。		
評価方法 出席率(70%)と、レポート提出(30%)		
テキスト 情報社会学 (I)	著書 小坂 暢幸	出版社 (株)グリン・テクノロジー
参考書	著書	出版社
授業スケジュール・内容		
前 期		
1. 情報と情報処理	情報と、コンピュータの基本構造を知る。	
2. 情報処理システム	コンピュータ機器の仕組みや、構造を知る。	
3. 情報の保管システム	情報はファイルという名で保管され、原理と装置を知る。	
4. 通信とネットワーク	インターネットやオンラインシステム等、ネットワークに関するシステムを知る。	
5. データとデータベース	データの扱いと、データベースについて知る。	
6. 情報産業と業界	コンピュータ業界の構成や、業種の内容を知る。	
7. 販売と販売管理	ビジネスの仕組みで、販売から納入、集金までの流れを知る。	
8. 流通システム	卸売、小売、コンビニ、運送系等、流通システムを知る。	
9. 交通システム	オンライン・リアルタイムシステムで、みどりの窓口等の、交通関連の仕組みを知る。	
10. カード社会	キャッシュカード、クレジットカード等、様々なカードの仕組みと注意点を知る。	
11. 金融システム	銀行の仕組み、銀行で活躍するコンピュータ、ATM等を知る。	
12. 高速道路と情報処理	ETCなど高速道路での情報処理システムを知る。	
13. コンビニと情報機器	コンビニでの情報機器について知る。	
14. 非接触 IC カード	ICOCAなど、非接触 IC カードを活用したシステムを学習する。	
15. 全地球測位システム	GPSなど、位置確認システムの仕組みを知る。	